

平成26年度前半期活動報告

神戸市立兵庫商業高校

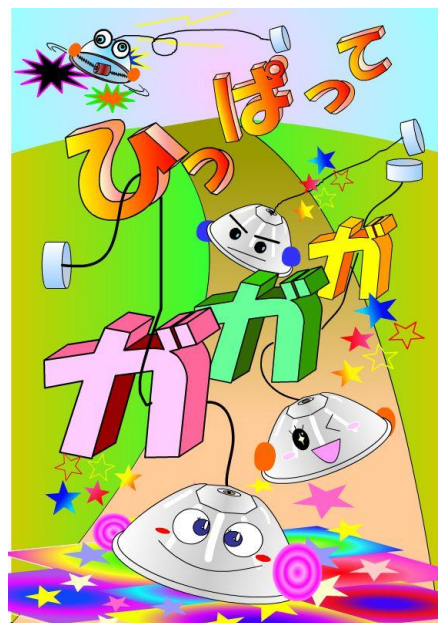
(1) 兵庫商業の先生方へ新商品 **ひっぱってガガガ** の説明および販売

10作目のゆめキットができました。商品名は「ひっぱってガガガ」です！

本年度も、本校玄関に「ゆめキット」のディスプレイを置かせてもらっています。そして、新商品「ひっぱってガガガ」を先生方一人一人に説明することにしました。この「ひっぱってガガガ」は電池が入っているのですが、電池で動くのではありません！ですから、電池が切れても動きます。さて、そのくみは？ぜひ、お買い上げのうえ、作ってみてください。先生方には説明を聞いてもらい、「ひっぱってガガガ」を29個お買い上げいただき、誠にありがとうございました。

<生徒の感想>

- ・やはり商品を売り込みに行くのは本当に難しく、大変なことだと痛感した。この経験はすごく大切なものになると思う。ここまで緊張して、汗がダラダラでたのは久しぶりだった。
- ・リラックスしてやろうと思ったのに、いざ質問されるとすごくあせってしまい、全く自分の説明ができなかった。
- ・同じ先生に2回行かせてもらった。1回目は話し方の注意と商品のアピールをもっとするよう言われた。2回のチャンスをもらい、たくさん話げできた。そして買っていただくことができ、達成感があった。
- ・自分の言いたいことを言うだけでなく、相手の話も聞きながら、キャッチボールのように会話することが大切だと知り、とても良い経験になった。
- ・あいさつをするとき「2秒、相手の目を見ろ」と教えてもらった。
- ・笑顔で話さないと、楽しい商品だと相手に伝わらない。「伝える」ということは難しい。
- ・販売することの難しさ、コミュニケーションの大きさを学んだ。先生からのアドバイスをいっぱいもらい、とてもありがたかった。
- ・先生の興味を引き出すのが重要だったのに、上手くできなかった。それが残念だった。



(2) 夏休みゆめキット工作教室の開催

★8月11日(月) 鳴尾育成センター

受講児童：「つったろう」 13人(小学1年生)
「デコりん」 7人(小学2年生)
「グッとポン」 11人(小学3年生)

参加生徒：3年「商品開発」5名

大きな台風が近畿を通過した翌日、毎年お世話になっている鳴尾育成センターに行きました。しかし神戸電鉄が有馬口ー岡場で、がけ崩れのため運行されておらず、さらに有馬街道も平野ー水呑が通行止めとなっているなど、台風の被害は大きく、私たちも、交通渋滞にまき込まれ、なんと鳴尾育成センターに45分も遅れて到着しました。でも、子どもたちは待っていてくれました！

さっそく、ゆめキットづくりを開始。私たちの話をよく聞いてくれて、しっかりと作ってくれました。私たちが遅れてしまったので、遊ぶ時間が短かったけれど、今年も楽しいひとときが持てました。



★8月25日(火) 7公民館合同サマースクール(本校会議室)

受講児童：「ひっぱってガガガ」33人

参加生徒：3年「商品開発」15名

会議室が小学生と保護者の方たちでいっぱいになりました。今年の新商品「ひっぱってガガガ」を初めて小学生の子どもたちに作っ



てもらふことになり、とても緊張しました。

作り方を丁寧に説明し、子どもたちの動きや取り組みを見守りながら、作っていました。子どもたちはとても慎重に、そして一生懸命考えながら、作ってくれていました。そして、一人一人とてもユニークで、ガガガとよく動くものを作り上げてくれました。最初、きごちなかった小学生と高校生の会話もだんだんと弾んできて、小学生も、高校生も、笑顔で、



楽しいひとときを過ごすことができました。夏休みもあとわずかですが、小学生にとっては、この講座が夏休みの思い出のひとつに、さらには夏休みの宿題のひとつになるかもしれません。高校生にとっても、高校生最後の夏休みのいい思い出になりました。そして、これから始まる就職試験や大学受験に向けて頑張ることができると思います。

(担当：横山千尋・笠谷忠幸)